

AJU

コンビニハウス

会報

編集/コンビニの会事務局
連絡先/〒452-0807 名古屋市西区歌里町147番地
TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)

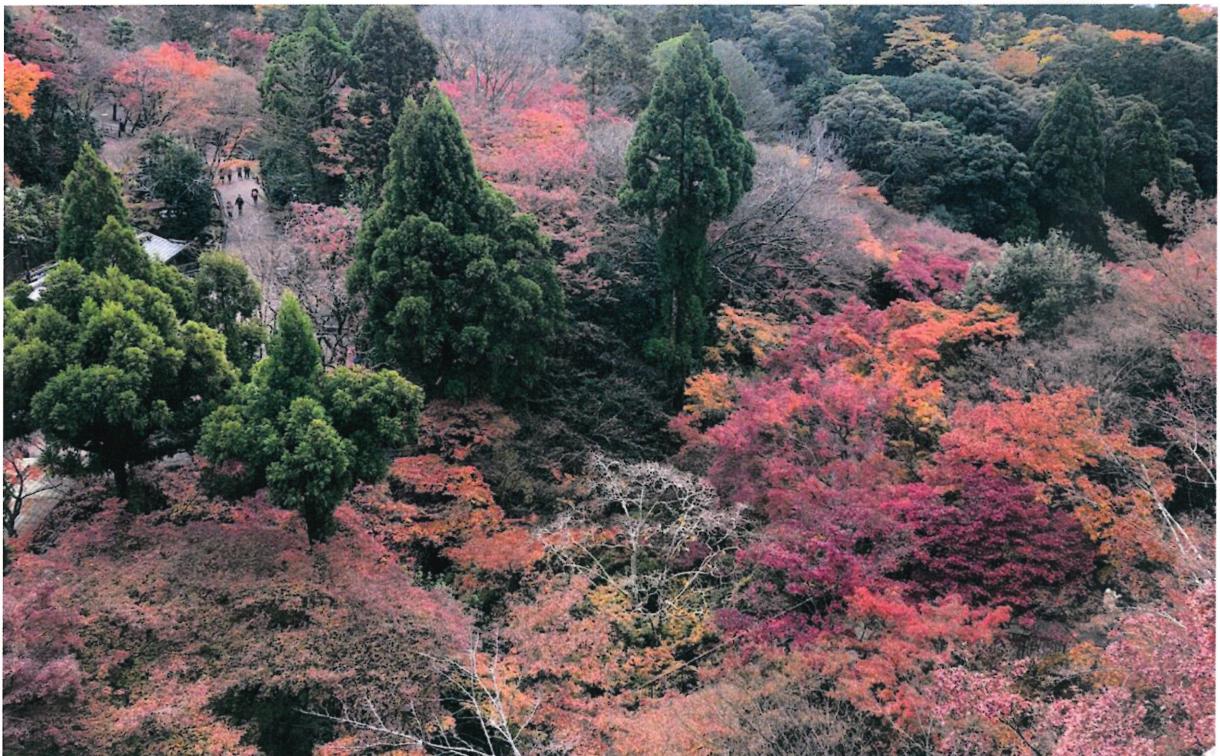
障害をもつ人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人
コンビニの会

定価/150円

昭和54年8月1日第三種郵便物承認

第142号



清水の舞台から観た紅葉 令和元年12月6日撮影

アジアの笑顔にまなぶ

写真家 長谷川 友子

1999年に初めてミャンマーへ。2006年まで継続して、日本語ガイドと共に10回以上撮影に行った。1回の旅は10日程。私がミャンマーへ通い出した頃は、よく人に『危なくないの』と言われた。当時は軍事政権の時代で、観光客も少なく2001年頃には全日空のバンコク→ヤンゴンの路線がなくなつた。2015年に民主化路線の、アウンサンスーチー氏のNLD(国民民主同盟)が、選挙で圧勝し、スーチー氏はそれまで自宅軟禁されていましたが、今では閣僚として政治活動ができるようになつた。だが議席の60パーセントを軍人が握っている状態。今は少数民族ロヒンギヤの難民問題で、世界的に非難を浴びている。この3~5年の間に、街の風景が大きく変わつた。そこで2月にヤンゴン(ミャンマーの最大都市)で個展を開催する事にした。

(次頁へ)

我が家に昨年12月5日から1週間、ミャンマー人ガイドの

息子18歳が滞在。京都や富士山、名古屋市内観光に連れて行つた。彼はもちろん日本語が話せない。私は単語とトーキングエイドでなんとかコミュニケーションを成立させた。私と旅をしていた当時のお父さんは新婚で、彼が生まれたばかり(2001年)であつた事を再認識させられ、毎夜ホテルからお母さんに電話していた事などを話した。そして彼は、ロビンギヤ難民について、またスチーチー氏の事を日本人はどうのように思つていいのかと聞いた。

親子2代、ミャンマー20年の縁をいただき、厳しい政治状況の過去20年の歴史を私なりに記憶する事となつた。写真展のテーマをSecond home(第2の故郷)とした。



新幹線から富士山を撮影

雑記
ごまめの歯ぎしり

12月11日、息子の山(さん)くんが息を引き取りました。

7月にちよつと右手の様子が変だなあつてどこから、妻の紗也ちゃんが気づき、念のため病院へ連れて行くと脳腫瘍がみつかりすぐに名市大へ入院してください!と。病院では余命半年から1年と言われ、放射線治療を勧められたが、もう半年命が延びるくらいといわれました。死ぬ前提での治療など意味がないと僕らは他の道を探すため治療を受けずに早めに出ることに。

その間紗也ちゃんが駆け回つて、結局山くん自身の免疫で闘うしかないと言う結論になり、栄養など意識しだした頃、吐き続けるようになり再入院。もう最後かもと医者に言われたけど、無事に回復してまた自宅へ。そこから3ヶ月半。いろんな先生や不思議な力を持つ人や、訪問の看護師さん、そして山くんの友だち。多くの人にお世話になり、支えられて、最後の最後まで生きることをあきらめなかつた山くん。結局腫瘍がどんどん大きくなつて、最後は生命維持装置を司る脳細胞に触れてうまく信号が送れず、呼吸が止まり、心臓が止まりました。

この5ヶ月半、僕らは常に山くんの幸せを思い、この先、生き続ける山くんの未来を見て、いかに充実した時間を過ごせるかを大事に一つ一つの決断をしてきました。本当に亡くなる最後までその決断に何一つ悔いはなく、やり切つた!満足してると言う言葉が2人とも出てきました。

亡くなつて三日間、山くんに会いに多くの人が家を訪れたくさんのご馳走とたくさん笑い声を届けてくれて、最後の最後まで山くんは楽しい時間を過ごせたと思います。連日連夜の来客の多さに4歳半で培えるような人の多さじゃないねと改めて山くんがみんなにとっても大事な存在だったんだなと思いました。4日目の朝、火葬場へ。やつぱりやつぱり寂しいですね。もつと遊びたいし、そして将来どんな人になつたんだろうとそれが見れないのが残念です。

でもこの間に多くを学び、とても充実した時間を過ごせました。支えてくれたみんなに感謝。山くんもほんとうにありがとうございました。これからもよろしくね!

山くん

2020年 年頭挨拶

特定非営利活動法人コンビニの会 理事
社会福祉法人エゼル福祉会 評議員

宮川 優子

会報読者の皆さん、今年もよろしくお願い

します。

ご存知の方も多いと思いますが、エゼル福祉会の前身でありますコンビニハウス、NPO法人コンビニの会の創設者である市江由紀子さんが2019年12月30日に亡くなりました。近年は体調がすぐれず療養する時間が長かったのですが、前日には教会に出かけたのですが、調子がよかつたそうです。しかしながら

暮れも押し迫る中、自宅で親しい方に見守られ苦しむことなく最期の時を迎えるされました。1月3日の告別式では、大勢の参列者で見送ることができました。

11月に発行しました前号で大川さんがきょうさん愛知大会で発表した市江さんとの母娘の自立について記事があります。幼い頃からの写真も載っていますのでホームページ

を増やしていくと思います。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

私が若い頃、当事者による障害者運動は「親は敵だ！」と叫んでいた過激な印象がありました。確かに世間体だのを気にする親の存在は、自分たちを受け入れようとしない社

会を代表するものでしようからその怒りは理解できます。そのような先入観があつた私は市江さんが障がいの重い友人の声を弁し、母親も巻き込んで事業を展開していく姿はとてもまぶしかった。チャーミングな人柄とともに多くの人を引きつけ、共感する人

理解できます。そのような先入観があつた私は市江さんが障がいの重い友人の声を弁し、母親も巻き込んで事業を展開していく姿はとてもまぶしかった。チャーミングな人柄とともに多くの人を引きつけ、共感する人

とつて、集団づくりはやや苦手で、まだ胸を張って素晴らしい活動をしていましたとは言えません。

ボランティアとして関わっていただいていた名古屋特別支援学校の教頭であった伊藤先生を昨年10月から通所部門の施設長にお迎えしました。クリスマス会で多くの元教え子たちに囲まれた幸せそうな姿をご覧になつた方もいると思います。若い職員が多いエゼル福祉会に足りない「長い経験」を伝え、「管理能力」を存分に發揮していただける」とでしょう。

ウイルの魅力は色々な障がいを抱えた個性的ななまが集まり助け合つて活動していることでした。反面、お菓子づくりをして

いる横に音楽を聴きながらラックスしている光景は集団としてのまとまりに欠けるものでした。今回、ウイルが2つに分かることでそれぞれの目標が明確になりました。

この原稿を書くために久しぶりにウイルに行ってみました。軽作業や製菓に集中できる環境が整えられ、やる気が上がりそうです。

人が少なくなつたことで本当に使いやすくなつたように思えました。室内のレイアウトを変更してスタッフルームをできたことで職員間の意思疎通や業務効率が上がります。

今後は職員の勤務時間を短縮することや障害理解を深めるための研修を増やすことを計画しています。施設が2か所になつたことで定員割れの状態になっています。無理のな

いベースで新卒者の受け入れをすることも課題です。

ウイル



(左) マスク袋詰め作業 (中央・右) 製菓作業の様子

ウイルでリラク班とパソコン班として活動していた重い障がいを持つたなかまがヴォーグに移りました。20数年前に見学をさせてもらつた作業所と比べると最新の設備が整えられて、それはそれは恵まれた環境です。福祉制度が整うということは目に見えて福祉施設が安全で清潔で使いやすくなる」とだと思い知らされます。なかまの多くは「広いね」「うれしい」など新しい施設を喜んでいたそうです。

私が見学にでかけた日はヴォーグでは1年の振り返りをなかもと職員で話し合つていました。大きな変化にも適応し、和氣あいあいとした雰囲気の集団ができている印象を持ちました。

ヴォーグ



利用者さんをマイクロバスで送迎



一年の振り返りをみんなで話し合い

今後は医療的ケアの必要な利用者が増えていくことになります。看護師を含めて職員それぞれが表情や小さな変化に気づき安心して活動できる居場所を作つていてほしいものです。活動の状況を説明してくれた坪内さんはまもなく産休に入ります。日本全体は少子化ですが、エゼル福祉会はほぼ毎年誰かが育休をとっています。社会福祉法人になり働く環境が整えられ職員が定着し、今後も良質な介護を提供していくと想います。

今年もどうぞ引き続きのご支援をよろしくお願いします。





2019クリスマス会

11月30日(土) 北区役所講堂でクリスマス会を開催しました。



開会宣言 (塩澤しのかさん 安永麻里さん)



サンタさん 登場♪



イオン・ワンダーシティサンタさんから
プレゼントをいただきました



Ritzさん☆
今年も楽しい演奏をありがとうございました

当日ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。(順不同・敬称略)

池田 真一 中島 晶子 山田 恵理香 岩崎 桃佳 松本 浩希 犬飼 佑輝 和田 遥香 山川 尚輝
橋本 真一 柴田 七歌 津留田 幸代 斎藤 暖奈 上野 初枝 山田 真由 山本 朔也 小林 康恵
間瀬 敬人 田辺 香奈 谷古宇 美咲 吉岡 将吾 和田 衣未 隅田 豊 川島 秀信 上野 知志
井上 祐子 長谷川 友子・水野 拓 (カメラマン)



『パプリカ』をみんなでダンス♪♪

お楽しみ大抽選会



ご寄付・ご支援いただいた皆様(順不同)

イオンワンダーシティ様
GTソリューション株様
(株)カミヤマ印刷様
高橋会計事務所様
(有)鈴幸商会様
オートサービス名古屋株様
増田 修様
大嶋 千波様
三井住友海上火災保険株
日新火災海上保険株
(株)東名メンテナンス
愛知銀行 小田井支店様
大垣共立銀行 小田井支店様
中小田井郵便局様

やったー!! お米5キロ
当たったよお~♪

みんなで集合写真を撮りました



あなたの時、あなたが伝えてくれたこと

生活支援部

増田 真衣子

私は就職してからずっと通所部で利用者さんと一緒に創作活動やお菓子作りの仕事をしていました。2年前に生活支援部に異動したことで、利用者さんの日々の生活に深く関わることが増えました。普段外では見せない表情や一人の時間の楽しみ、作りたい料理の材料がない！どうしよう…など自分たちで考えながら逞しく生活している姿を間近に見て、また新鮮な気持ちで利用者さんたちの思いに触れることが増えました。

利用者のAさんは一人暮らしを楽しむ体に障がいのある40代の女性です。年末も近

づき、お正月をどのように過ごすか話し合っていた時のやりとりです。

「お正月はうちに親が来てほしいな」とAさんは親御さんの家に帰っていました。毎年Aさんのお正月は親御さんの家に帰っていましたが、今年は自分の家でヘルパーと一緒に過ごしたい

と言っています。普段なら「予定伺つてみますね！」と返すところですが、「本当に良いですか？お正月くらい実家でゆっくり過ごさなくていいですか？」と尋ねました。Aさんは私の言葉を聞き、思っていた言葉と違っていたので、なんで!?と目を見開いて、訴えられました。

私は、Aさんの母親から仕事をしているために十分に会えず、なかなか一緒にゆっくり過ごせないことが、Aさんが一人暮らしをする前まで、お正月は近所の人たちと集まつてAさんの家で餅つきをして家族で楽しく過ごました。

していたことも聞いていました。

親御さんを招くとなるとAさんの自宅にヘルパーも傍に見守っている中で、親御さんも家族水入らずで気兼ねなくゆっくり過ごすことが出来ないかもしれないと感じて発した一言でした。

私はAさんが、年を重ねて自分自身の身体のことを気にし始めているのと同じで、親御さんもいつまでも元気ではいられない事、実家に帰ることも出来なくなる日もいつあるか分からぬ事を話しました。深く傾き聞きながらもすでに親御さんがAさんの介助をすることが難しいことや無理をさせてしまったことを心配していく、だからこそ正月に帰らない決断をしたようです。私はAさんなりに親御さんに無理をしてほしくない、心配する気持ちを沢山持たれていたことに気づきました。

一人暮らしをする前まで、近所の人と一緒に毎年お餅つきを楽しんだ思い出の沢山詰まつた娘家から、親御さんも引っ越されてAさんが過ごしていた部屋はありません。今は自分で生活している家でヘルパーと過ごす場所が、親御さんと安心して会える場所と思つての一言だったのです。親に何かあつたらじうしょうと思つていた頃から、一人暮らしを始め、Aさんを支える存在が親だけでなく自分の生活をヘルパーと築いてきたことで、もう私は大丈夫! いっぱい支えてもらつた親御さんに自分の時間を大切にしてほしいと感じているのだと思います。ずっと何か親御さんの手を借りないと出来なかつた頃から、今はヘルパーと一緒に自分がプレゼントを渡したり家に招いたり、私もやれる! と喜びでも沢山感じているのだと思います。

「家に招いて何か料理をふるまいたい」と話

すAさんの目は輝いていました。

一人暮らしを続ける中でAさんは食生活も意識するようになりました。好きなものの中でメニューを考えることが多かつたので、健康診断の血液検査で貧血傾向と分かること、「血のため!」と少しずつレバーの味を変えながら毎日摂るようにしていました。結果、健康診断でも良い数値がでていきました。

苦手な食べ物もなるべくバランスよく摂る様に意識されるようになりました。

個別の支援を通して『自分で選択する』というシンプルな行為が生活の中には沢山あることに気づきました。今まで親御さんが氣づいたり、あたりまえにやつてもらつたりしていたことも、例えば食べる事ひとつでもメニューから食材は何があるかまで一緒に考えます。毎日選択する中で、楽しいだけ

で、もう私は大丈夫! いっぱい支えてもらつた

個別の支援を通して『自分で選択する』と

ました。

先日、Aさんは誕生日を迎え、沢山の方からお祝いの品やメッセージなどもらつた話をする中で「私は幸せ者だな」としみじみ語る姿を見て、今後も利用者さんたちの幸せをかたちに出来るよう関わりたいと思います。

もあります。しかし、利用者さんが使える身体全身で感情や思いを伝えようとする姿は生きよう! とするエネルギーに満ち溢れており、私もその場面に触れる中で人間の尊厳や生きることの意味に気づかされ、学んでいます。通所部では活動や仕事の内容など主体的に伝える事もよくありました。生活の場では、出来る限りその方の感性や価値観を捉えて支援に繋げることが、本人しか得ることの出来ない人生の喜びに繋がるのだと思いました。

《活動状況》

11月

- 4日 W I L L・V O L O 祝日開所
 4日 福祉のお仕事フェア (溝口)
 5日 名古屋市との懇談会 (原・織部・北島)
 8日 ケース会議 (渥美)
 9日 サロンうたさと開催 (ピア) 越智章仁)
 12日 中小田井片付け
 12日 インフルエンザ予防接種
 14日 名古屋市との懇談会
 (大川・渥美・水谷・増田)
 14日 暮らしの場交流会 (木村)
 15日 サービス管理責任者研修 (木村)
 16.23日 重度訪問介護従業者養成研修
 23日 サロンうたさと開催
 (チロ&ウアイリン 清水直・村松麻衣)
 24.25日 障全協第53回全国集会中央行動
 (大川・伊藤・高嶋・増田・馬場)
 28日 通所親の会
 12.19.26日 行動援護従事者研修 (鬼頭)
 22日 会報発送
 26日 理事会
 30日 エゼル福祉会クリスマス会(北区役所)

12月

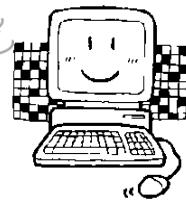
- 3日 会報会議
 7日 重度訪問介護従業者養成研修
 7日 評議員会
 10日 グループホーム会議
 12日 防災会議
 13日 施設長会議 (伊藤)
 14日 サロンうたさと開催
 (名古屋聖書バプテスト教会賛美隊・
 ピアノ岡田 清花)
 16日 名古屋聾学校・南養護学校訪問 (伊藤)
 16.17日 防災研修 (久野)
 20日 稲沢特別支援学校・
 一宮東特別支援学校訪問 (伊藤)
 27日 W I L L・V O L O 忘年会
 28日 通所総括・大掃除

 クリスマス会 収支ご報告 2019/11/30 

取 入		支 出			
明 細	寄付のお品	現 金	明 細	寄付のお品	現 金
1 クリスマスチケット売り上げ 141名様		87,400	1 会場費 北区役所講堂		20,800
2 寄付金 ご支援いただいた企業様 8社 ご支援いただいた個人様 2名		145,000 100,900	2 舞台・演出備品		51,516
3 寄付のお品 ご支援いただいた企業様 4社	ハム詰め合わせ お米 カップ麺 お茶 BOXティッシュ サンタイレットペーパー ^一 フェイスタオル 貯金箱 マグカップ ボールペン 皿 キャラクターうちわ ハンドタオル		3 出演・謝礼費等		82,084
			4 その他・雑費 景品購入・お土産お菓子 ボランティア保険 等		81,498
			5 抽選の品	特別賞 ステーキ肉 1等 ホテル食事券 2等 ハム詰め合わせ 3等 お米 4等 日用品セット 5等 カップ麺 BOXティッシュ	
			6 参加者様へのお飲み物	お茶	
合 計		333,300	合 計		235,898

※差引残高は公益事業会計に繰入します。 差 引 97,402

事務局コーナー



「ご協力ありがとうございました」

11月～12月（敬称略・順不同）

★ ご寄付いただいた方々

(NPO 法人コンビニの会)

※会報購読料 1万円以上お振込みの方

東洋観光(株) トクメイ

★ 物品寄付をいただいた方々

(コンビニハウス)

イオンワングループ 石原まち

(WILL)

安永麻里 石原優樹

佐藤慶太 山口恵美子

(VOL)

若松泰宏 宮川優子

麻生早紀 大森直子

★ 会報発送ボランティア

吉田嘉子 丹羽正子

半田素子 佐藤美紀子

★ 活動にご協力いただいた方々

(コンビニハウス)

石原正寅 達本道子 黒田隆広

藤本菜見 大森 信 楠村ゆき

石原まち 寺西 剛 鈴木千春

伊藤翔磨 松本浩希 山川尚輝

村上梨央 森岡佳乃 藤本由紀子

岩崎桃佳 樋口美穂 酒井まみ子

隅田 豊 和田遙香 吉岡将吾

田邊利徳 上野友志 近藤友紀子

大西玲維 佐脇涼太 磯村みづき

(VOL) 須田たみ子

★ 地域サロンボランティア

半田素子 堀江良子 佐藤美紀子

田中 咲 藤田ますえ 中川愛珠実

中島晶子 西殿紗莉那 山田恵理香

石原雅織 北島ゆり香 曽我美保

井上祐子

☺ ミニ情報 ☺ ヘルプマークを知っていますか？

援助や配慮が必要な方へのマークです。

外見からは分からなくても援助や配慮が必要な方がいます。

☞ 赤地に白のマーク

このマークを見かけたら、電車内で席をゆずる、

困っているようであれば声をかけるなど、

思いやりのある対応をお願いします。



地域サロンうたさと スケジュール

日 程	楽 器	演 奏 者
1月 25日(土)	オーボエ&ピアノ	宮沢 花おり・佐々木杏子
2月 8日(土)	ギター&バンジョー&フラットマントリン	が もん 我 聞
2月 22日(土)	ジャズピアノ	司 いつ子
3月 14日(土)	フルート&ピアノ	上田 花奈・酒井 美緒
3月 28日(土)	ヴァイオリン&ピアノ	田村 信子・福島 礼子
4月 11日(土)	エレクトーン	鬼頭 亜衣
4月 25日(土)	ピアノ	太田 英美
5月 9日(土)	オペラ歌手・ピアノ&ソプラノ	古屋 彰久・古屋 あすき
5月 23日(土)	津軽三味線	りん 凜 紅

ご来店は予約制のため、ホームページまたはお電話にて
お申込みください。(先着受付 20 座席分)

予約サイト <https://airrsv.net/salon-utasato/calendar> または

ホームページ <http://ezeru.sakura.ne.jp/>

予約 QR コード

(お電話の場合 080-9492-0450 高嶋)

※予約サイトで予約される方でメール受信制限をしている
方は[@airrsv.net]のドメインを受信可能にしてください



営業時間 第2・第4 土曜日 13:00~15:30

〒452-0807 名古屋市西区歌里町 147 番地
社会福祉法人 エゼル福祉会 TEL 052-505-6082

【銀行口座】三菱UFJ銀行 小田井支店 店番 238 (普) 口座番号 1440108

特定非営利活動法人 コンビニの会

【郵便振替口座】番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。

障害のある人たちの地域生活を支援する

〒452-0807 名古屋市西区歌里町 147 番地

特定非営利活動法人

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

コンビニの会
理事 宮川 優子

U R L <http://ezeru.sakura.ne.jp/>
E-mail convini@beach.ocn.ne.jp

